

4月 登米市部長等連絡調整会議 要旨

日 時 令和3年4月5日（月）

午前10時30分から

場 所 消防防災センター防災会議室ほか

1 東北風土マラソン&フェスティバル 2021 の開催について

■資料1に基づき説明

今年度、4月24日～25日の2日間で、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からオンラインでの開催。長沼フートピア公園そばに特設スタジオを設け、YouTubeやコミュニティ FM を通じて情報を発信する。参加方法については、「ASICS Runkeeper」の無料アプリをダウンロードしていただき居住地域からの参加となり、参加費は2,500円で大会記念Tシャツが参加賞となる。参加種目は、フルマラソン、ハーフマラソン、5キロメートルの3種目で、エントリーした距離を4月24日～5月5日までの期間内に走っていただく。

昨年の大会からの継続参加者については、物産セットを参加者の自宅に配送し、東北の食を楽しんでいただくこととしている。

例年同時開催していた、登米フードフェスティバル・東北日本酒フェスティバルもオンライン開催とし、(仮称)登米フードフェスティバルバーチャルモールを立ち上げ、市内を始めとした食の生産者や日本酒の蔵元のインタビューなどを交えながら、東北のうまいものなどの情報を発信し、バーチャルモールにてお買い求めをいただく予定としている。4月1日時点の申込者数は、1,975名。

2 企業誘致情報の提供について

■資料2に基づき説明（産業経済部長 遠藤亨）

本市では、地域経済の活性化並びに雇用確保の観点から工業団地への誘致を進めている。

2月定期議会では議員から企業の進出情報に対し、報奨金制度の提案があったが、市としては市長のトップセールスを中心に庁内での連携を図りながら進めることとしている。昨年度から、企業立地推進専門監を配置し取り組んでいるが、コロナの影響により企業訪問など、誘致活動が難しいため、市職員、家族、知人から誘致に関心を寄せている企業情報などがあれば、情報提供をお願いしたい。

令和元年度には、市職員OBからの情報提供が豊里のソニー跡地の誘致につながった事例もあるので、よろしくをお願いしたい。

3 日本航空機内食での登米市産食材を使用したメニューの提供について

■資料3に基づき説明（産業経済部長 遠藤亨）

日本航空が行う「地域プロモーション活動」にて「東北広域」が特集され、4月1日から4月30日までの1か月間、日本航空国内線ファーストクラス（羽田出発及び羽田到着便）の夕食において、登米市産の野菜や加工品を使用したメニューが提供される。今回に至った経緯は、岩手県の田野畑村にある「ロレオール田野畑」の伊藤オーナーシェフからお声掛けをいただき登米市産食材を使用することとなったもの。

登米市産食材としては、米（ひとめぼれ）、仙台黒毛和牛、ニラ、小松菜、いちご（もういっこ）、シイタケ、あぶら麩、しそ巻きの8種類が使用される。

4 「ミス日本みどりの女神」への登米市産材使用木工品贈呈並びに登米市への来訪について

■資料4に基づき説明（産業経済部長 遠藤亨）

「ミス日本みどりの女神」は、みどりや木の現代的な価値を広く社会に発信するため、林野庁が「ミス日本コンテスト」と連携して創設したもの。

今回、6代目みどりの女神である井戸川百花さんが任期満了を迎えられるにあたり、林野庁から感謝状と記念品が贈呈されるが、その記念品として井戸川さんが昨年10月に登米市を視察された際、大変気に入られた「もくもくハウスの木工品」が贈呈されることとなった。贈呈式はオンライン形式で4月9日に開催。

また、7代目みどりの女神となる小林優希さんが、みどりの月間（4月14日～16日）に合わせて本市に来訪され、市長を表敬訪問し、もくもくランドなどを視察する予定となっている。